

科目名	美容デザイン論Ⅲ		Subject	Theory of Beauty Design Ⅲ				
サブタイトル	美容技術の裏付けとなる理論を学び、技術の課題発見につなげる							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能	DP2 主体的行動力	DP3 課題解決能力	DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	後期	選択						
授業形態	単位	時間						
講義	1 単位	30 時間	◎		○			
ゲストスピーカー招聘回								
教員名	ヘアチーム			メールアドレス	hair@・・・			
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】							
実践的教育	○ 美容師としての経験をもとに美容用具の取り扱いや技術の方法について具体例を盛り込んだ内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要																	
本科目では、美容デザイン論Ⅰで学んだ知識をもとに、各ヘア技術の目的や用語、ならびに技術のプロセスや特徴に関する知識を習得する。同時に、美容デザイン実習Ⅲで行う美容技術と関係づけ、技術的課題について理論を用いて発見できる思考力を養う。 また、伝承美(着装)、メイクアップⅠ・Ⅱ、ネイル技術Ⅰの各技術の知識を再確認し、幅広い美容技術を相互に活かす場面を想定していく。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		－		－		あり		－		－							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP1		各ヘア技術の基礎理論と施術の事故を防ぐために用剤や化粧品の特徴・使用方法について正しく述べるができる。															
DP3		学んだ知識を、美容デザイン実習Ⅲを行う上で技術に関係づけ、髪・顔・装いの面から適切な技術理論を選択することができる。															
教科書・教材																	
教科書		『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編（2026年）、教員作成資料及び演習問題プリント															
参考文献		なし															
各自準備教材		B5 大学ノート（リングノート不可）															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
80%		－		10%		－		－		－		－		10%		－	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
定期試験の要点について、classroom 内、もしくは美容デザイン論Ⅳにて解説を行います。																	
履修上の条件・注意																	
前期開講科目「美容デザイン論Ⅰ」および「美容デザイン実習Ⅰ」を単位修得した者のみ履修可能 美容デザイン実習Ⅲの内容と相互に理解をしながら受講する必要があります。遅刻・欠席は知識を習得する上で支障が出るため原則認めません。 資料の配布、授業連絡は classroom を通じて行います。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第 1 回	オリエンテーション 5章：パーマネントウェービング① 理論、歴史と現在を学ぶ	今期の授業の流れを予測することができる。パーマネントウェービング理論とパーマネントウェーブの歴史と現在について比較することができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉5章パーマネントウェービング理論と歴史をノートにまとめる(45分) 〈予習〉次回学ぶパーマ剤の分類について教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 2 回	5章：パーマネントウェービング② パーマ剤の分類を学ぶ	パーマの分類、パーマ剤に関する注意事項について列挙することができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉5章パーマ剤の分類についてノートにまとめる(45分) 〈予習〉次回学ぶパーマネントウェーブの工程について教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 3 回	5章：パーマネントウェービング③ パーマネントウェーブの工程を学ぶ	パーマ剤に関する注意事項とパーマネントウェーブの技術プロセス述べることができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉5章パーマネントウェーブの工程についてノートにまとめる(45分) 〈予習〉美容デザイン論Ⅰでまとめたワインディングについてのノートを見返す	60分
第 4 回	ワインディング理論の応用	今回の設定の仕上がりに合わせたベース、スライスの厚み、ロッドの角度、巻く位置などを述べるができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉ワインディングの応用をノートにまとめる(45分) 〈予習〉美容デザイン論Ⅰでまとめた序章・1章・2章のノートを見返す(15分)	60分
第 5 回	序章・1章・2章を振り返る	序章・1章の人体の名称や美容用具について、2章シャンプーについて各名称や技術方法を正しく選択することができる。	〈復習〉わからなかった箇所を繰り返し読み解く(45分) 〈予習〉美容デザイン論Ⅰでまとめた3章・4章・7章のノートを見返す(15分)	60分
第 6 回	3章・4章・7章を振り返る	3章ヘアデザイン、4章のヘアカット、2章シャンプーについて各名称や技術方法を正しく選択することができる。	〈復習〉わからなかった箇所を繰り返し読み解く(45分) 〈予習〉次回学ぶヘアセットの基礎について教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 7 回	6章：ヘアセット① ヘアセットの基礎を学ぶ	ヘアセットについての基礎の名称を述べるができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉ヘアセットの基礎をノートにまとめる(45分) 〈予習〉次回学ぶヘアウェービング理論の教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 8 回	6章：ヘアセット② ヘアウェービング理論を学ぶ	ヘアウェーブの分類と技術理論を述べるができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉6章ヘアウェービング理論をノートにまとめる(45分) 〈予習〉フルウェーブ資料を見て構成を確認する(15分)	60分
第 9 回	6章：ヘアセット③ ヘアウェービング理論の活用	ヘアウェーブの技術理論を技術と関係づけることができる。	美容技術理論 1) 〈復習〉これまでにまとめたヘアウェービングのノートを見直し、技術を行なう上での要点をノートにまとめる(45分) 〈予習〉次回の6章ヘアカーリングの教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 10 回	6章：ヘアセット④ ヘアカーリングを学ぶ	カール各部の名称、種類を述べるができる。	〈復習〉美容技術理論1)6章のヘアカーリングについてノートにまとめる、6章ヘアセットの演習問題を解く(45分) 〈予習〉美容技術理論2)9章ネイル技術教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 11 回	9章：ネイル技術について学ぶ	ネイル技術の各道具の名称と使用法を列挙することができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉9章ネイル技術の要点をノートにまとめる(45分) 〈予習〉次回学ぶ10章メイクアップの教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 12 回	10章：メイクアップ メイクアップについて学ぶ	メイクアップ理論およびメイクアップの基本テクニックについてメイクアップ技術と関係づけることができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉10章：メイクアップの要点をノートにまとめる(45分) 〈予習〉次回学ぶ12章：着付けの基礎理論と技術の教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 13 回	12章：着付けの理論と技術① 着付けの基礎理論を学ぶ	着付けの目的・着物や帯の種類・着付けに用いる小物などを述べるができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉12章着付けの基礎理論をノートにまとめる(45分) 〈予習〉振袖や袴の着付け技術理論の教科書の範囲を読む(15分)	60分
第 14 回	12章：着付けの理論と技術② 着付け技術を学ぶ	基礎理論をもとに留袖着付けや袴の着付けの技術のポイントや注意点を述べるができる。	美容技術理論 2) 〈復習〉12章振袖や袴の着付け技術理論をノートにまとめる、美容デザイン論Ⅰ、Ⅲで学んだ章の演習問題を繰り返し解く	60分
第 15 回	まとめと解説	今期までに学んだ全章でデザインできる美容を想定し、必要な知識の選択ができる。	美容技術理論1と2の教科書にて今期までに学んだ全ての知識を見直し、演習問題も活用して必要な要点の箇所を洗い出す。60分	60分